



# 学校だより 夢

文責 福辻 智実

## 2 学期 スタート号

8・9月のめあて

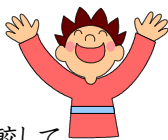
こまめに手をあらおう  
チャイムの合図を守って行動しよう

### 2学期 スタート!!

17日間の夏休みが終わって、2学期がスタートしました。今日、全校のみんなが元気にそろって始業式を迎えられたことを嬉しく思います。

1学期の終業式で『継続は力なり』の話をしましたが、この夏休みに自分で決めたことに取り組むことができたでしょうか？

みんなそれぞれに取り組んだことで、大きな力をつけ、自信をもって学校に登校してきたことと思います。「わたしは、○ ○をがんばったんだ。」「わたしは、□□ができたよ。」という自信をこの2学期、さらに深めていってほしいと思います。



さて、日本の子どもたちは、他国の子どもと比較して「自尊感情」が低いと言われます。「自尊感情」は、「自分自身に対する誇りを持ち、自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れる感情」のことです。簡単に言うと、「自分を大切にすること」ではないでしょうか。自分を大切にできない人は、他人をも大切にすることはできません。自分のことはもちろん、いろいろな人の多様性を認めながら、共に生きていける社会を築いていくことが大事です。

今日の始業式では、「どんなことでも積み重ねていくと大きな力になり、自信が持てるようになる。」ということを話しました。

子どもたちの自己尊重の感情を育てるためには、次のようなポイントがあります。

- ①自分自身の長所も短所も肯定的に受け止めようとする
- ②周りの人から愛され、大切にされてきた自分に気づく
- ③様々なことに挑戦し、困難や課題を解決しながら最後までやり遂げ、達成感を感じる

いじめや自殺が社会問題となり、最近では特に、インターネットを利用してのトラブルが深刻化しています。「ネットいじめ」などと言われたりして、場所や時間に関係なく起こり、エスカレートしやすく、見えにくいという特徴があります。

私自身が子育て真っ最中の頃(今も子育ては続いています)が…) 右上の詩を聴き、「なるほどなあ」と思い、折に触れて思い出してきました。

#### 『子は親の鏡』

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、  
子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
親が他人を羨(うらや)んでばかりいると、  
子どもも人を羨(うらや)むようになる  
叱りつけてばかりいると、

子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合う事を教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、

子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりを持って育てれば、  
子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、

この世の中はいいところだと思えるようになる

発達心理学の専門家である東京学芸大教授の岩立京子氏は、「人にほめられると、“ほめられる自分”や“成功する自分”に出会っていくので、そういったことを通じて、自己概念や自尊心、自信が生まれ、自分で考えて行動できるようになります。ほめることは一般に考えられている以上のよい意味があると思います。」と述べています。

学校においても子どもたちの自尊感情を高めていけるような指導・支援を心がけていきたいと考えています。ご家庭でも上の詩をちよつと意識してお子さんと接していただけたらと思います。学校と家庭、地域が連携して、自分を大切に、他人を大切にする子どもたちを育てていきましょう。

明日から個人懇談が始まります。今年度は、新型コロナウイルスの影響で授業参観も実施できず、保護者の皆様もお子様の学校での様子がよくわからない中での懇談になりますが、進級してからの学校生活や学習の様子や家庭生活の様子など、いろいろと話し合えばと思います。 よろしくお祈りします。

